

評 議 員 会 議 事 録

1. 招集年月日 平成 30 年 6 月 7 日（木）

2. 開催日時及び場所

(1) 日 時 平成 30 年 6 月 15 日（金） 午後 1 時 30 分

(2) 場 所 興部町福祉保健総合センター「きらり」

3. 評議員現員数

33 名 （平成 30 年 6 月 15 日現在）

4. 出席評議員数・監事及び氏名

■評議員（22 名） 工藤喜代子、大石 彰、斉藤千代子、山本典子、五十嵐宏美、中野奈緒美、長嶺壽一、
細川 彰、奥山治美、川上孝征、金澤岩雄、原田富士雄、木下秀昭、高原 直、
上出憲吉、森田博寿、加賀繁明、佐藤和幸、岩渕国城、大池 譲、小林保男、
柳父晴太郎

■監 事（2 名） 岩井 正、山下 栄

5. 来 賓（3 名）

興部町福祉保健課長 開米俊憲

興部町介護支援課長 松田 仁

興部町介護支援課長 浜田康弘

6. 出席理事氏名、職員氏名

理事 2 名 会長理事 櫻木トモ枝、 副会長理事 義達幹夫

職員 6 名

高橋幸大(事務局長)、増田留子（訪問介護・ハウス事業管理者）、瀬川真奈実(通所介護事業管理者)、
卯城美保(本部係長)、小澤慶太(福祉活動専門員)、阿部芳美（本部主事）

7. 付議事項

報告第 1 号 職務執行状況報告について

報告第 2 号 社会福祉法人興部町社会福祉協議会監査報告について

報告第 3 号 選任された評議員について

議案第 1 号 社会福祉法人興部町社会福祉協議会役員の選任について

議案第 2 号 社会福祉法興部町社会福祉協議会平成 29 年度事業報告について

議案第 3 号 社会福祉法人興部町社会福祉協議会平成 29 年度収支決算報告について

事務局長 ～ 皆様にはこんにちは。本日は何かとお忙しいところ、ご案内の評議員会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。はじめに本日の会議の成立について報告します。本日の出席評議員数 22 名。社会福祉法人興部町社会福祉協議会定款第 16 条第 1 項の規定により、評議員数の過半数の以上の出席を確認しましたので本日の会議は成立いたします。

これより平成 30 年度 1 回目の評議員会を開催いたします。開会にあたりまして、興部町社会福祉協議会、櫻木会長よりご挨拶を申し上げます。

会長理事 ～ こんにちは。6 月も半ばとなりました。若葉、青葉が一段と色づき、これからは海や山が恋しく感じる季節に向かう訳でございますが、大変寒い毎日が続いております。今日は皆様方には何かとお忙しい中ご出席をいただきましてありがとうございます。また開米課長さん、松田課長さん、浜田課長さんにはご多忙中にも関わらずご臨席をいただきまして誠にありがとうございます。日頃より評議員の皆様方には社協事業に対しまして、ご協力ご支援をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。29 年度社協事業も皆様方のご協力のもと、全ての事業を終えることができましたことに厚く御礼を申し上げます。29 年度総会では事業活動収入が支出を上回りました。当初から 4 人の職員の退職、また休職となっておりましたが、利用者の増が見込めないため、職員の補充は最小限に抑え、全職員の業務分業で頑張ってください、人件費を抑えることで経営内容を図る方法での計画で進めさせていただきました。職員の頑張りで人件費をはじめとし、事業費等を抑えることができました。このことは職員の並々ならぬ頑張りがあったからこそと職員には感謝しております。しかしながら経営改善を優先させることは職員に大きな負担を負わせることになることも事実であります。今、介護の現場では利用者の高齢に伴い、利用者や利用者家族からはサービス内容等に際し、特に安全面に対する色々な要望が向けられております。経営の改善を図るため人件費の削減を進めているところではございますが、介護の現場では利用者の安全を守るための介護職員体制に限界を感じております。職員の確保が大変難しいところではございますが、利用者の安全面を守るための職員体制を整えるために、職員確保に向け関係機関との相談をさせて頂きながら改善を図って参りたいと考えておりますので、皆様方のご理解もいただきたくお願いを申し上げます。今日ご提案いたします案件は報告 3 件、議案 3 案件でございます。詳細につきましては事務局から説明いたします。どうぞ、建設的なご意見をいただき、全ての議案のご審議をいただきご決定くださいますことをお願い申し上げます。どうぞよろしくお願い致します。

事務局長 ～ 本日は、公務お忙しいところ、興部町より開米福祉保健課長様、松田介護支援課長様、浜田介護支援課長様のご出席いただいておりますのでご紹介のみさせていただきます。誠にありがとうございます。

それでは、本日の資料の確認を行います。評議員会議案が 1 部。別紙 1、職務執行状況報告書。別紙 2、定款の一部変更認可。別紙 3、高齢者福祉計画・第 7 期介護保険事業計画。別紙 4、監査結果報告。別紙 5、平成 29 年度事業報告書。別紙 5（添付）、介護サービス実績報告。別紙 6、平成 29 年度収支決算報告書。その他、機構図・職員配置図。また皆様には社協の定款・規程集を 1 冊づつお渡ししておりますので会議開催の際にはご持参いただけると幸いに存じます。よろしくお願い致します。

それでは、会議次第の 3、議長選任となりますが、定款第 15 条第 1 項「**評議員会の議長は、その都度評議員の互選とする。**」の規定によりまして、本日の議長の選任を行います。議長が決まりますまで、櫻木会長に仮議長として進行することとしてよろしいでしょうか。

評議員一同 ～ はい。

事務局長 ～ それでは、櫻木会長よろしくお願い致します。

仮議長 ～ それでは議長が決まるまで、私が進行を務めて参ります。議長を選任するにあたりましてどのような方法で選任したらよろしいでしょうか。皆さんからのご意見を頂戴したいと思います。

大池評議員 ～ 会長さんに一任します。

仮議長 ～ ご意見ありがとうございます。「会長に一任」ということでございますが、私からご指名するということではよろしいですか。

評議員一同 ～ はい。

仮議長 ～ それではご指名を致します。 金澤岩雄さんをご指名します。金澤さん、よろしくお願いします。

(金澤 評議員 議長席へ移動)

議 長 ～ 只今、議長にご指名をいただきました 金澤でございます。不慣れでございますけれども、皆様方のご協力をいただきましてこの会議がスムーズに終了するようにご協力をお願い申し上げます。座ったままで会議を進めさせていただきますのでよろしくお願い致します。

それでは、会議次第の4、議事録署名人の選出となりますが、私から指名させていただいてもよろしいでしょうか。

評議員一同 ～ はい。

議 長 ～ ありがとうございます。それでは、私から指名いたします。本日の議事録署名人は、柳父晴太郎さん、佐藤和幸さんをご指名いたします。後日、事務局にて議事録を作成しますので、ご確認のうえ、署名、捺印をお願い致します。

それでは、議案の審議に入ります。報告第1号「職務執行状況報告について」を議題とします。提案者の説明を求めます。

事務局長 ～ 報告第1号「職務執行状況報告について」定款細則第3条第1項第4号の規定に基づき報告を致します。別紙の1をご用意ください。「過去の理事会・評議員会等の決議事項につきその経過報告」、定款変更手続き完了報告について説明します。ここで「別紙2」をご覧ください。定款変更認可について、3月22日付の申請で北海道オホーツク総合振興局へ手続きを行いました。2ページに参りまして、4月9日付で北海道知事からの認可を受けてございます。4ページをご覧ください。4月11日付で社会福祉法人変更登記を旭川地方法務局へ申請し、登記を完了してございます。ページ番号が見づらいですが12ページをご覧ください。上段枠内の「(12) 介護保険法に基づく第1号訪問事業」同じく「(13) 介護保険法に基づく第1号通所介護事業」この2項目の追記を行い、平成30年4月12日付で法務局への登記が完了しております。6ページに戻っていただきまして、興部町介護予防・日常生活支援総合事業指定事業者、指定申請手続きにおきまして、登記完了後の定款履歴事項全部証明書を興部町介護支援課へ提出しておりますので、併せてご報告申し上げます。

会長理事～ それでは「その他、評議員会から報告を求められた事項」について説明いたします。3月19日の評議員会において評議員さんからご質問をいただいた件についてご報告をしたいと思います。ご質問の内容については「管理職手当の整備について」ということの質問でございました。その時の「評議員会」においては、答弁に**不十分**がございましたので、まずはこの場をお借りしてお詫び申し上げます。

平成28年度(10月)に規程・規則の見直しを行わせていただき、平成29年度(4月)より職員の給与についても適正に進めさせていただいております。管理職手当の整備については、指定管理事業の更新時期となります「平成32年度に向けて、給与表の見直しと併せて整備していけるよう検討したい」と考えておりますことを報告させていただきます。以上で報告第1号の説明とさせていただきます。

議 長 ～ 報告第1号の説明が終わりました。ここで質疑お受けいたします。ございましたらご発言をお願いします。

評議員一同 ～ ありません。

議 長 ～ 質疑なしと認めます。以上で報告第1号を終了します。次に進みます。

報告第2号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会監査報告について」を議題と致します。提案者の説明を求めます。

事務局長 ～ 報告第2号「監査報告」について説明いたします。議案の5ページと別紙4をご覧ください。平成30年1月～3月の四半期監査と平成29年度決算監査を兼ねました監査を5月8日に岩井監事、山下監事ご出

席のもと、お受けしたところでございます。会計事務処理、予算執行状況について適正に行われている旨の監査を受けましたので、ご報告を申し上げます。以上で報告第2号の説明を終わります。

議 長 ～ 報告第2号の説明が終わりました。質疑がございましたらご発言をお願いします。

評議員一同 ～ ありません。

議 長 ～ 質疑なしと認めます。以上で報告第2号を終了いたします。次に進みます。報告第3号「選任された評議員について」を議題と致します。提案者の説明を求めます。

福祉活動専門員 ～ 報告第3号、選任された評議員について説明いたします。議案の6ページをご覧ください。6月4日に理事会にて決議されました評議委員選任候補者ですが、定款7条第1項の規程に基づき、6月7日の評議員選任解任委員会において5名の委員全員のご出席いただき審議しました結果、新泉町自治会からは奥山治美様、また、泉町自治会からは大澤重光様が評議員に決定しましたことを報告いたします。以上で、報告第3号の説明といたします。

議 長 ～ 報告第3号の説明が終わりました。質疑がございましたらご発言をお願いします。

評議員一同 ～ ありません。

議 長 ～ 質疑なしと認めます。以上で報告第3号を終了いたします。次に進みます。議案第1号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 役員の選任について」を議題と致します。提案者の説明を求めます。

事務局長 ～ 議案第1号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会役員の選任について」定款第19条第1項及び役員・評議員選任規程第2条第1項第1号の規定に基づき、ご説明申し上げます。
議案の7ページをご覧ください。自治会役員の変更に伴い、自治会連合会からの選任区分で理事でありました 長嶺正義さんが4月13日付で退任届の提出がございました。
役員・評議員選任規程によります選任区分におかれましては、自治会連合会からの推薦枠として選出されており、その選任区分の定数を下回ることから新たな理事の選任の決議を求めるものでございます。
理事の選任については、定款第19条第1項「評議員会の決議によって選任する。」こととなります。
役員の選任については、選出母体があることからその点を踏まえて、櫻木会長よりご説明を致します。

会長理事 ～ 只今、事務局より説明がございましたように自治会連合会から理事に選出されておりました長嶺さんが辞任されました。そのことによりまして私ども、規則によりまして選任区分であります自治会連合会に理事1名の推薦をお願いしていたところ、お名前が挙がってきておりますのでここでお名前を挙げさせていただきたく、お願い致します。どうぞ、選任区分に基づいていることをご理解いただき皆様方のご意見を頂戴できれば幸いです。

議 長 ～ 議案第1号の説明が終わりました。社協会長より関係団体との調整部分も踏まえているということで、役員の（案）についてお示しをしたいというご説明でした。社協の櫻木会長から（案）を提示していただくということによろしいでしょうか。

評議員一同 ～ 異議ありません。

議 長 ～ それでは櫻木会長より、新理事の（案）について発表していただきたいと思います。

会長理事 ～ それでは選任区分であります自治会連合会から推薦されております方のお名前を「別紙」で配らせていただきます。

（ 別 紙 配 布 ）

会長理事～ 只今、お手元に配らせていただきました別紙のとおり、選出母体であります自治会連合会から推薦されま

した 町田信一さんをご提案致します。評議員会の決議事項でございますので、どうぞご審議いただきご決定くださいますようお願い申し上げます。

議 長 〜 議案第 1 号の説明が終わりました。これより質疑に入ります。何かございませんか。

評議員一同 〜 ありません。

議 長 〜 ありがとうございます。質疑なしと認めます。それでは議案第 1 号について採決を行います。原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願い致します。

評議員一同 〜 (挙 手 ※人数確認)

議 長 〜 ありがとうございます。本日の出席者全員が賛成ということでございます。よって議案第 1 号は提案のとおり決定します。次に進みます。

議 長 〜 議案第 2 号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会平成 29 年度 事業報告について」、それに関連がございますので、議案第 3 号「平成 29 年度 収支決算報告について」を一括して議題と致します。事務局より説明いたします。

福祉活動専門員 〜 議案 2 号、社会福祉法人興部町社会福祉協議会平成 29 年度事業報告についてを説明いたします。別紙 5 をご覧ください。平成 29 年度の会務の開催状況と致しまして三役会議が 10 回、常任理事会 3 回、理事会 4 回、評議員会 3 回、評議員選任・解任委員会 2 回の開催となっています。監査につきましては 11 回開催しています。会議の案件内容等につきましては、1 ページ下段から 6 ページまで記載しておりますので、後程ご高覧下さい。6 ページ下段②社協広報事業です 6 月、9 月、12 月、3 月の年 4 回社協だより「きらきらえがおこっぺ」の発行をおこない、全戸配布をしております。7 ページ、大きな 2 番在宅福祉サービス事業、①在宅給食サービス事業です。毎週木曜日に実施し、平成 29 年度は 50 回の実施延べ 1,042 名のご利用がありました。②在宅ライフサポート事業です。月 1 回年 12 回の実施となっております。延べ 37 名のご利用がございました。3.地域福祉活動推進事業です①自治会福祉活動事業です。第 1 回を 29 年 7 月 14 日、第 2 回を 29 年 10 月 30 日に福祉委員会を開催しております。また、自治会長様や福祉委員の皆様のご協力をいただきながら、声かけ見守り訪問を年 2 回実施しています。(2) たすけあい活動として、高齢者等のふれあい交流、世代間交流等の活動を行なった自治会に対し助成を行ないます。22 の自治会に助成を行いました。②福祉活動助成事業として、遺族会 92,000 円、母子寡婦会 40,000 円、身障協 40,000 円、老人クラブ連合会 80,000 円、の助成を行なっております。③福祉学習事業としまして、平成 29 年度は興部中学校と沙留中学校に講師の派遣を行っております。8 ページ下段、4.ボランティア活動普及事業です。(2) ボランティア団体助成として 90,000 円の助成を配食ボランティアつくしんぼうにおこなっております。(5) 平成 29 年度オホーツク圏市民活動ボランティアフォーラムが 11 月 11 日に紋別市で開催され、1 名の参加がございました。②ボランティアスクール事業です。10 月 5 日に興部町で行われました防災訓練に支援ハウス入居者 5 名が参加いたしました。5.応急援護資金貸付事業です。貸付件数 1 件、償還件数 1 件になります。6.葬儀支援サービス事業です。14 件のご利用があり、延べ 5,500 枚の会葬礼状の発行でございました。7.町連携事業です。①戦没者遺族対策事業です。興部町との連携事業となりまして、興部神社の忠魂碑の管理を行ない、7 月 2 日の戦没者追悼式におきましては参拝者が 4 名でございました。10 ページ、8.歳末たすけあい事業です。12 月 31 日に 70 歳以上の独居世帯及び 80 歳以上の夫婦世帯におせち料理の配布を行なう事業になります。延べ 104 名の方のご利用がございました。9.受託事業になります。①高齢者除雪サービス事業です。自治会のご協力のもと、除雪が困難な世帯 54 世帯に対し、除雪の支援協力をいただいております。10.福祉サービス利用援助事業です。こちらは道社協からの委託になります。日常生活において判断能力の低下による金銭管理、福祉サービスの利用手続き等を支援する事業となりまして、利用件数は 4 件、年間 20 回のご利用がございました。続きましてホームヘルプサービス事業になります。

訪問事業管理者 ～ 10 ページをご覧ください。11 番ホームヘルプサービス事業です。ホームヘルプサービスセンターの営業日やサービス提供時間は記載の通りとなっております。年間の利用者数は介護保険適用の方が実人数で294名となっております。内訳と致しましては、要支援1、11名。要支援2、85名。要介護1、105名。要介護2、74名。要介護3、10名。要介護4、0名。要介護5、6名となっております。入院や施設入所、ご家族のもとへ転居等、利用者の方が減少している現状ではございますが、利用者様が在宅での生活を安心して過ごして頂けるよう内部研修や職員ミーティングなどとおして職員のスキルアップを図りました。以上簡単ではございますが、ホームヘルプサービス事業とさせていただきます。なお別紙の介護サービス実績報告にホームヘルプサービスの利用状況の記載をしておりますのでお時間のある時にお目通し頂ければと思います。

通所事業管理者 ～ 11 ページをご覧ください。12 番デイサービス事業です。平成 26 年度からは指定管理事業として運営をしておりますのでございます。デイサービスの営業日やサービス提供時間は記載の通りとなっており、年間の利用者数は介護保険適用の方が実人数で 427 名となっております。行事といしまして、5 月にお花見バスハイクとして興部神社の桜やモーモー城のスイセン畑の見学を行っております。7 月には興部高校様のご協力のもと学校祭の一環としてきり前でパフォーマンスを披露していただく事が 3 回目を迎え、晴天の中利用者様が学生達のダンスを観てとても喜んでおられた表情が印象に残っております。そのお礼と致しまして、利用者様が縫った雑巾を興部高校様にご寄附に伺った事もこの場を借りてご報告を申し上げます。8 月には毎年恒例の「デイ祭り」を開催し、利用者様がとても楽しそうにお祭りに参加しているのを見てスタッフ一同大変嬉しく思っており、利用者様の事故や怪我等がなく色々な方と交流を図りお祭りが執り行われましたことは、サポートの会様の出店の店主としてのお手伝いがあった事、そして大正琴や三味線、カラオケの団体の皆様のご協力もあり盛大にお祭りに花を添えていただいた事が大きかったと感謝をしているところでございます。10 月には文化祭への作品制作として北海道社会福祉協議会のマスコットキャラクター「ホットちゃん」の大きな貼り絵を作成いたしました。通年を通して行っておりますのが、誕生会で 3 ケ月ごとに行ない、デイサービスの機関紙であります「ホット☆デイ☆ホット」も利用者さまやご家族に年 6 回発行しております。畑作りや収穫といしましてデイサービスの畑とプランターにて「枝豆」と「ミニトマト」を育て、利用者の皆様におやつの際に提供し味を楽しんでいただく事ができました。興部中学校様とデイサービスの関わりといしましては毎年続いております総合学習の中の「福祉学習」への講師の派遣や高齢者疑似体験、又デイサービスでのレクリエーションの体験など生徒と利用者様とのふれあいも継続している事業の 1 つとなっております。29 年度にはもう 1 つ学生とのふれあいといしまして沙留中学校の支援学級の生徒との定期的な関わりを持ち利用者様も生徒の顔を覚え会えるのを楽しみにしている様子も見られておりました。各種大学からの実習生や慰問、演奏会など 29 年度は町内だけではなく町外の方もデイサービスに来て下さり関わりが多かった 1 年だったように感じております。このように地域の皆様やその他大勢の皆様の大きなご協力がありデイサービスの事業を進めていく事ができました事に感謝を致しましてデイサービス部門の事業報告とさせていただきます。なお別紙 5（添付）となっております資料の介護サービス実績報告にデイサービスの利用状況の記載をしておりますのでお目通しいただければと思います。

訪問事業管理者 ～ 12 ページをご覧ください、13 番障害者自立支援事業です。こちらの営業日、提供時間はホームヘルプサービス事業と同様となっております。痰吸引の該当者の方も 4 月からの利用となっております、ご家族の介護負担軽減の為、週 1 回訪問させて頂き喀痰吸引、経管栄養、身体的介助を行っております。ご家族からは安心して任せられているとの声を頂いております。

支援ハウス管理者～ 続きまして、14 番高齢者生活支援ハウス事業でございます。365 日、24 時間体制で行っており、入居者の方が安心して生活できるよう必要時の見守りや介護保険適用での援助等させて頂いております。また入居者の方同士の交流を図るため毎月のお楽しみ会を実施しており、大きな行事と致しましては買い物ツアーや焼き肉、クリスマス会、新年会等開催いたしました。入居されている方の介護度上昇に伴い車椅子の方も増え、紋別への買い物や興部での買い物に変更しましたが、皆さんそれぞれに欲しかったものを購入できて楽しんで頂けたと感じております。以上、簡単ではございますが高齢者生活支援ハウスの事業報告とさせていただきます。

福祉活動専門員 ～ 13 ページ、15.生活福祉資金貸付事業です。道社協からの委託事業となります。低所得者や高齢者等を経済的に支え、経済的自立や社会参加の促進を図る事業になります。平成 29 年度は 4 件の貸付けがありました。また、1 件のご相談がございました。16.心配ごと相談事業です。町民の皆様が抱える悩みや心配ごととの相談をうけ、解決のための制度の紹介や機関の紹介を行ないます。平成 29 年度は 1 件のご相談がありました。

本部係長 ～ 社会福祉法人興部町社会福祉協議会 平成 29 年度収支決算報告についてです。別紙 6 をご覧ください。1 ページからの資金収支計算書の真ん中より少し左にあります予算額については、平成 25 年度からの新会計基準に基づき、平成 29 年度期中の補正と年度末に行った予算流用額を含んだ最終予算額となっております。また、右端の備考欄につきましては記載できる文字数に制限もございますことから、サービス区分名、及び各種事業名等について略称で記載している部分がございます。サービス区分について、法律の法若しくは法人として記載しておりますのが法人運営本部サービス区分、受託として記載しておりますのが受託事業サービス区分、ヘルプと記載しておりますのが老人ホームヘルプサービス区分、片仮名のデ若しくはデイと記載しておりますのが老人デイサービス区分、片仮名のハ若しくはハウスと記載しておりますのが高齢者生活支援ハウスサービス区分となります。見づらい部分もありますがご了承をお願いします。それでは、決算額についてご説明させていただきます。1 ページ会費収入については、決算額 203 万 7 千円となりました。個人会費および特別会費において予算を超えてご協力をいただいたものです。寄付金収入については 44 件、156 万 3,645 円の決算となりました。経常経費補助金収入については町補助金と共同募金配分金を合わせ、5,919 万 8,505 円の決算額となりました。法人運営本部の町補助対象事業において事業経費の減少があり、町補助金について清算による減額を行っております。受託金収入については市区町村受託金と都道府県社協受託金を合わせ 92 万 6,126 円の決算となりました。町受託金収入については高齢者等除雪サービス事業について実績額に基づく受託となっております。貸付事業収入については決算額 5 万円、本年度内 1 件の貸付について償還をいただいたものです。事業収入については法人運営本部サービス区分の各種事業利用料として 36 万 9 千円の決算額となりました。また、各介護事業に関するサービス区分については、老人ホームヘルプサービス区分及び老人デイサービス区分の事業収入の合計が、介護保険事業収入となりまして、3,656 万 6,146 円となりました。補足として、1 ページの一番下、改ページの関係で切れている科目につきましては、介護予防・日常生活支援総合事業収入となりまして、予算額 654 万 3 千円、決算額 654 万 7,810 円となっております。2 ページ、上から 2 段目をご覧ください、高齢者生活支援ハウスサービス区分の事業収入が老人福祉事業収入となりまして 1,095 万 4,561 円、障害福祉サービス区分の事業収入が障害福祉サービス等事業収入となりまして 8 万 9,340 円の決算額となりました。次の大科目、その他の収入については法人運営本部サービス区分及び老人デイサービス区分の受入研修費及び雑収入となりまして、4 万 910 円の決算額となりました。以上の合計となりまして、事業活動収入計（1）は 1 億 1,180 万 5,932 円となりました。続いて支出の部、人件費については全体で 8,925 万 6,195 円の決算額となりました。特に 14 ページ記載の老人デイサービス区分及び 17 ページの高齢者生活支援ハウスサービス区分で、職員給料支出、非常勤職員給与支出、法定福利費支出等でそれぞれ見込額を下回ったものとなっております。続いて、事業費支出については 1,080 万 5,242 円の決算額となっております。3 ページをご覧ください。事務費支出については合計で 706 万 810 円の決算額となりました。補足といたしまして、3 ページの一番下の段、改ページにより切れている中科目については、業務委託費支出 予算額 39 万 2 千円、決算額 38 万 8,800 円となっております。4 ページをご覧ください、中ほどに少し太い線で挟まれている次の大科目、利用者負担軽減額については 18 万 9,199 円、貸付事業支出は 1 件の実績で 5 万円、助成金支出は自治会の福祉活動、福祉団体への助成として 189 万 7,500 円の決算額となりました。以上を合わせまして、事業活動支出計（2）は 1 億 925 万 8,946 円となり、事業活動資金収支差額（3）については先ほどの事業活動収入計（1）との差引となり、254 万 6,986 円となったものです。5 ページをご覧ください。その他の活動による収支については積立預金積立支出として現在の積立金に関する利息について積立てたものとなり、決算額 820 円となりました。以上を合わせまして、下から 3 段目、当期資金収支差額合計（11）については決算額 254 万 6,166 円となり、前期末支払資金残高と合わせ、一番下の段、当期末支払資金残高については 3,473 万 632 円の決算額となったものです。7 ページから 20 ページまでのサービス区分ごとの資金収支計算書、及び 21 ページから 27 ページまでの事業活動計算書、28 ページから 42 ページまでの事業活動明細書については、資金収支計算書と重複する箇所が大半となりますので、決算額の詳細の説明を省略させていただきます。お時間のありますとき

にご覧いただければと思います。なお、平成 29 年度 4 月より、社会福祉法改正に伴い、会計単位のうちのサービス区分の再編を行っております。そのため、25 ページ事業活動計算書の中段より少し下に記載の繰越活動増減差額の部について、再編前の平成 28 年度の決算における各サービス区分の次期繰越活動収支差額を、平成 29 年度再編後のサービス区分の前期繰越活動増減差額として振分け、本年度の処理を行ったものです。そのため、21 ページからの科目ごとの前年度決算額については区分改正の影響により繰越しとはならなかったものです。43 ページ貸借対照表からは阿部がご説明いたします。

本部主事 ～ 43 ページの貸借対照表をご覧ください。上段にあります左側の科目、流動資産と右側の科目、流動負債についてです。左側の流動資産については、預金 33,622,419 円、事業未収金 6,211,252 円、未収金 2,000 円、未収補助金 213,152 円、貯蔵品 8,000 円、前払金 97,624 円となりまして合計 40,154,447 円となります。事業未収金については、介護事業等の 2 月、3 月分の介護報酬及び 3 月分の利用料収入等となっております。続いて右側の上段、流動負債として事業未払金 573,850 円、その他の未払金 298,114 円、未払費用 2,771,210 円、預り金 6,700 円、職員預り金 1,773,941 円合計 5,423,815 円となります。その他の未払金については経費額確定後の補助金精算の未払金計上、未払費用については 3 月分の法定福利費等の 4 月支払分等となります。そして流動資産から流動負債を差し引いた額が 5 ページの資金収支計算書をご覧ください。一番下にあります当期末支払資金残高と同額の 34,730,632 円となります。なお、各科目の詳細な内容については 44 ページの財産目録にて記載しております。続いて先ほどの貸借対照表 43 ページにお戻りください。左側中段、固定資産についてです。決算額 12,254,648 円となります。内訳といたしましては基本財産から介護サービス事業積立資産となります。29 年度については固定資産の新規取得は行っており、器具及び備品として 5 台のパソコンをウィンドウズ X P サポート終了のためセキュリティの観点から廃棄処分をしております。また、処分時点での帳簿価額については耐用年数が満了となっており、それぞれのパソコンの備忘価額 1 円となっております。その他減価償却、積立金の利息の積み立て分という動きとなりました。続いて右側中段、純資産の部です。基本金から介護サービス事業積立金については左の積立資産と同額での計上となります。その下の次期繰越活動増減差額については決算額 35,718,350 円となりまして純資産の部合計 46,985,280 円、負債及び純資産の部合計 52,409,095 円となるものです。また純資産部の合計 46,985,280 円については、お隣の 44 ページの財産目録の中の一つ下 差引純資産の金額と一致するものです。次の 45 ページをご覧ください。こちらは参考として固定資産のみ記載したものです。次の 46 ページから 48 ページについては法人全体としての注記を記載しております。46 ページをご覧ください。中段にあります 3 番重要な会計方針の変更については、社会福祉法の改正により 6 月及び 12 月に一部改正を行っております。一部改正については社会福祉充実計画に関する定めその他、その下の 5 番で定めておりますサービス区分について改正を行っております。47 ページをご覧ください。上段の⑤各拠点区分におけるサービス区分の内容についてです。こちらは 5 つのサービス区分を増やしております。「福祉サービス利用援助」「移動支援」「生活福祉資金貸付」「心配ごと相談」「生活支援体制整備」です。ただし、「移動支援」「生活支援体制整備」につきましては関連事業の実施がなくサービス区分の設置のみとなっております。下段にあります 9 番の固定資産の取得価額、原価償却累計額及び当期末残高の推移につきましては貸借対照表及び財産目録の動きと重複しますので説明は省略いたします。以上で簡単ではございますが平成 29 年度収支決算の説明とさせていただきます。

議長 ～ それでは、ここで監事より監査報告をお願い致します。

岩井監事 ～ それでは監査報告をさせていただきます。社会福祉法人興部町社会福祉協議会定款第 22 条第 1 項及び社会福祉法人興部町社会福祉協議会定款細則第 3 条第 1 項第 1 号の規定に基づき、各四半期ごとの監査、そして今年 5 月 8 日の決算監査を実施したところ、事業報告、貸借対照表、収支計算書、財産目録等について、いずれも適正に処理されていることを認め、ご報告致します。監事 岩井 正、同じく山下 栄。以上です。

議長 ～ ありがとうございます。それでは只今、議案第 2 号、第 3 号の説明、監査報告が終わりました。これより議案第 2 号、第 3 号の質疑を一括してお受けいたします。質疑がございましたらお願いします。

評議員一同 ～ ありません。

議 長 ～ ありがとうございます。質疑なしと認めます。それでは採決を行います。議案第 2 号について、採決を行います。原案のとおり、承認することに賛成の方は挙手をお願い致します。

評議員一同 ～ （ 挙 手 ※人数確認 ）

議 長 ～ ありがとうございます。本日出席の評議員全員が賛成ということでございます。よって議案第 2 号は提案のとおり承認します。

続きまして議案第 3 号について、採決を行います。原案のとおり、承認することに賛成の方は挙手をお願い致します。

評議員一同 ～ （ 挙 手 ※人数確認 ）

議 長 ～ ありがとうございます。本日出席の評議員全員が賛成ということでございます。よって議案第 3 号は提案のとおり承認します。

以上で本日まで提案の議案については、全て終了となります。議長役目については皆様のご協力により、無事に務めることができましたこと感謝申し上げます。これで議長を退任いたします。ありがとうございました。

（ 議長退任 評議員席へ移動 ）

事務局長 ～ 本日、議長をお務めいただきました 金澤様、スムーズな進行をいただき、感謝とお礼を申し上げます。本日、議長をお務めの金澤様に大きな拍手をもってお礼を申し上げたいと思います。大変ありがとうございました。

それでは会議終了に際しまして、社会福祉協議会 櫻木会長より閉会のご挨拶を致します。

会長理事 ～ 皆様方には大変お忙しい中、ご出席をいただき長時間に渡り議案のご審議ご決定をいただきましてありがとうございます。今年度、新たな事業で計画をしております道社協の支援事業であります「地域福祉実践計画策定支援事業」がこれから本格化するわけでございます。地域住民の皆様方の意見を反映しながら計画策定に取り組んで参りたいと考えております。この事業に対しましても皆様方のご協力を賜りますようお願いを申し上げます。終わりと致します。本日は大変ありがとうございました。

閉 会

平成 30 年 6 月 15 日
午後 2 時 35 分 閉 会

以上、記載の記録に相違ないことを認め、ここに記名、押印をいたします。

社会福祉法人 興部町社会福祉協議会

議長 _____ 印

(議事録署名人) 評議員 _____ 印

(議事録署名人) 評議員 _____ 印